

SKYMENU 活用授業 実践レポート

| | | | |
|------|------------------------|-----|------------|
| お名前 | 下岡 克廣 | 学校名 | 神戸市立菅の台小学校 |
| 実施学年 | 6年生(特別支援学級:自情) | 教科 | 社会科 |
| 単元名 | 我が国の政治の働き:日本国憲法と政治の仕組み | | |

《学びを深めたいポイント》

なかなか課題に取り組めない児童に対して自分のペースで取り組めるようにすると良いのでは、という仮説をもとにチャレンジしてみました。今回は、自ら学習に取り組もうとする姿勢を身につけさせたいと思い、実践に臨んでいます。まずは、45分の中での目標の設定から始めました。目標は、3段階の評価のルーブリックもとに決めさせました。その次に、計画を立てるようにさせました。どんな課題を、何を使って、何分間取り組むというのを設定させました。目標設定→計画→実行の流れができれば、振り返りをさせました。できたこと、できなかったこと、その理由、次にどんなことに取り組むのか、という順で徐々に目標設定と計画に対する振り返りをさせていきました。目標設定～振り返りの流れができれば、単元計画とそれに合った発表ノートを配布し、学習に取り組ませました。

《SKYMENU 活用のポイント》

発表ノートを活用しました。目標の設定、振り返り、単元計画に沿った各課題のページを作成し、配布して今。各課題のページは、日付、教科書のページ、取り組む課題、思考を深めるための問いを並べた熊手チャート図、動画のリンク集を入れて配布しました。ポイントは、「1ページでほぼ完結すること」と「見通しがもてるようにすること」の2点を意識しました。情報の収集を行うにも動画リンクと教科書のページを開くだけというのが一目でわかる為、スムーズに学習に取り組めるのではないかと考えました。スライドの順番は、1:目標設定、2:ふりかえり、3~は単元計画通りに並べました。単元計画表とおおよそページを合わせておくことで、どのスライドを開いたら良いかすぐにわかるのではないかと思います。

「授業に参加」させることで、支援学級の中でも交流で学習していようと学習状況を把握することができる為、その後の助言や指導に生かすことができます。

目標設定と振り返りのページは、1回目からの記録が一覧で見える為、児童が自分の変化を客観的にとらえることができます。

《実践を振り返って》

完全に1人で行くと情報をとるだけの浅い学びになってしまうので、教師の声掛けや疑問の投げかけ等を繰り返し行いました。ただ、体調、気分、残り時間や集中力の持続の問題等で目標設定や振り返りが雑になってしまうことがありました。情報を入力するときも熊手チャートが逆に邪魔になってしまったり、課題の難易度が児童に合っていなかったりという問題も浮き彫りになりました。

成果としては、交流学級での学習に参加して先生の話や黒板の字をメモして学習に取り入れたり、日々の振り返りを見ながら、自分の成長を感じ、前向きな発言も見えたりするようになりました。自分から学習に取り組もうという姿は社会科の学習以外の場面でも見られることが増えました。発表ノートで行うことで、動画のリンクにすぐ飛べたり、記号や文字が繰り返し簡単に入力削除できたりすることも効果的だったのではないかと思います。

今後は、より取り組みやすい学習課題を単元を通して設定し、それに応じた発表ノートの中身、気づきメモとの連携に取り組んでいこうと思います。